

先々週に梅雨が明け、先週は元気にグラウンドで走り回ることができると思った矢先、日中の温度が高いことで熱中症警戒の暑さ指数が高くなり、特に昼休みは1度も出ることができませんでした。休み時間や場合によっては教室内で授業を受けている最中も、給水をしながら熱中症対策をとっています。通学時の対策につきましては、ご家庭の方でもお声がけをお願いいたします。

この3ヶ月間、授業や1日の終わりにふりかえりを書いてきました。私の授業以外にはもちろん、体育や図工など実技教科でもふりかえりを書くことを習慣化し、「学習や1日を通して何ができ、何ができなかったのか」「次はどんなことを意識したいか」などについて書きながら、自分自身を客観視することの重要性を問うています。ふりかえりに対してフィードバックをする際、書くスキルの授業で復習している「主語・述語・目的語・修飾語」などと関連させながら声かけをしています。先日、探究の時間に1人の3年生にこれまでの探究の授業のふりかえる形でインタビューをした際、ふりかえりや考えを詳しく伝えることを続けてきたことに対して、「頭使って疲れるけど、深く考えていて自分でも成長していると思う」と、楽しそうに話をしてくれました。4月に入学した子たちも、途中から編入してきた子たちも、こういった学習や活動を通して、成長していることを日々感じています。子どもたちも私たち教員も、また保護者の皆様にとってもパワーのいる学習スタイルではありますが、その効果や将来性は計り知れないものになると信じています。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第2クォータープロジェクト①～瀬戸魅力発見プロジェクト～

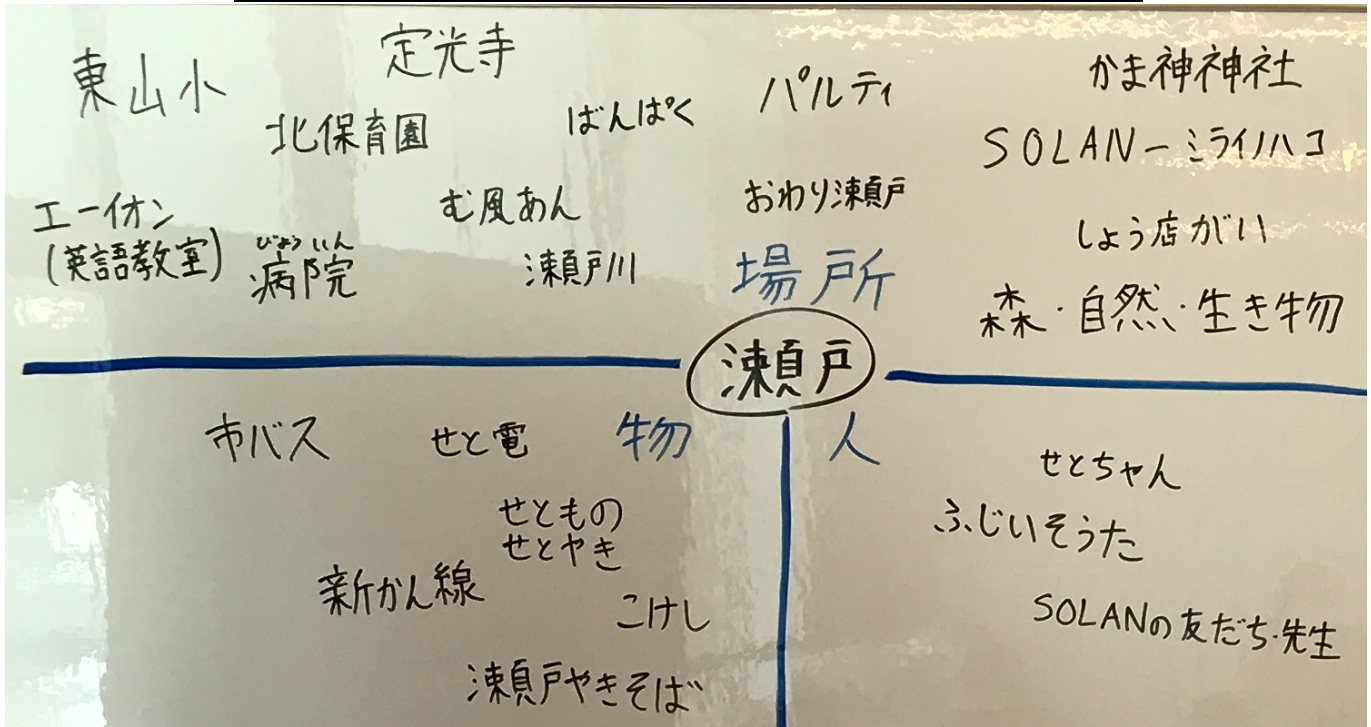
7/19(月)の3/4時間目より、第2クォーターの瀬戸魅力発見プロジェクトをスタートさせました。プロジェクトの授業で取り組む課題については私たち教員が提供します。第1クォーターを経験した子たちはそれが分かっているので、説明前に「今の気持ち」を聞くと、「どんなプロジェクトかワクワクしている!」と発言する子が多い中でのスタートでした。

初めに「瀬戸」をテーマにイメージすることや知っていることを聞くと、最終的には場所・物・人に分けられる形でたくさんのアイデアが出ました。中には瀬戸ではなさそうなものもありますが、イメージマップを作る際は正誤よりも想像できるものをできるだけたくさんあげ、それを共有し合うことを目的としているので、クラス全体にあがった以上にワークシートに書いている子もいました。

今回の「瀬戸魅力発見プロジェクト」は、瀬戸の魅力をたくさんの人に知ってもらうこと、そして住む人や働く人の手助けにもなることを目的とし、魅力を発信できる形で成果物を作ることを考えています。第1クォーターではスタート段階で「成果物はデジタルのMapにまとめる」と示したので、今回の成果物は第1クォーターから習得してきたICTや情報活用能力を活かす形で、プロジェクトを進めながら子どもたちと話し合っていて決めていこうと考えています。

成果物と目的について紹介した後は、プロジェクトの流れやプロセスについて話し合いました。第1クォーターでプロジェクトを経験しただけあって、「フィールドワークや詳しい人にインタビューをして情報を集める」「写真を撮影する」「本や地図でフィールドワークの場所を考える」「伝える方法を考える」といった意見がすぐに出てきました。また「多面的に考える」という意見もありました。これは第1クォーターや先週の考える技の授業で学習した「お魚ボーン図を使った物事を多面的に見る技」からアイデアが来ているのだと思います。15分のモジュールの授業の積み重ねの重要性を改めて感じた瞬間でした。

瀬戸をキーワードにしたイメージマップ
 分類しながら書いたので、YチャートならぬTチャートのような形に



第2クォータープロジェクト②～瀬戸FC大橋さんインタビュー～

3/4時間目に導入を終えた後、5時間目には早速「詳しい人インタビュー」として瀬戸FCの総監督であり、尾張瀬戸駅の東にある末広商店街で春広堂書店をなさっている大橋さんにお越しいただき、瀬戸の特徴や今と昔、フィールドワークのおすすめの場所などについて教えていただきました。実は大橋さんは職人さんとともに SOLAN のあの素晴らしい人工芝のグラウンドを作ってくくださった張本人です。インタビューの初めに子どもたちにそれを伝えるとみんな驚き、とても親近感を持ってインタビューをスタートしました。

瀬戸物が有名であることやその理由、またその当時の生活や瀬戸電の歴史まで、瀬戸市で生まれ育った大橋さんだからこそ教えていただけるお話をたくさん伺いました。また瀬戸蔵や陶祖公園などのフィールドワークのおすすめの場所や、瀬戸焼きそばの発祥や鰻や焼肉屋さんが多い理由などについてもお話しいただき、興味が湧く導入の活動としては最高の形で、プロジェクトのスタートとなりました。

次週27日(火)に早速瀬戸蔵にフィールドワークに出かけ、瀬戸の歴史や瀬戸物について学習していきたいと思います。